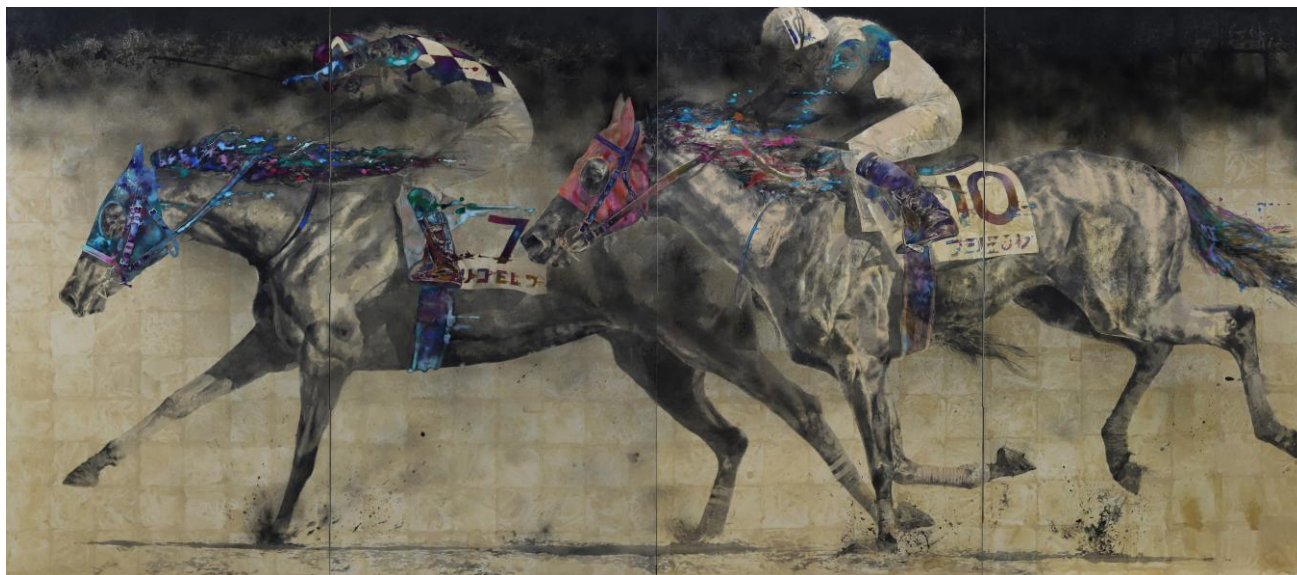


天心記念五浦美術館 井手康人展地域連携実行委員会主催

## 「第6回 FROM—ここからの日本画—」



川又聡「地鳴り」(部分) 2026年

### 【展覧会概要】

FROMは、「日本画」に軸足を置く作家たちの大作の発表を旨とするグループです。

2021年より「それぞれの日本画」という副題を掲げて5年間開催してきました。この五浦の地でも2024年に第4回展を巡回しましたが、この度メンバーを改変し「ここからの日本画」として新たなスタートを切り、巡回することとなりました。

北茨城は、明治時代に岡倉天心の指導のもと、横山大観、菱田春草、下村観山、木村武山が新しい日本画の創出に取り組んだ近代日本美術を語る上で欠かせない地です。横山大観らの絵は、今でこそ伝統的な日本画とみなされますが、当時は最先端の「現代美術」でした。「日本画の画材で、どのような新しい表現ができるか」と挑戦した大観らの試みは、FROMの画家たちの意識と共通するものがあります。この企画展を、県北地域の振興を図る事業の1つと位置づけ、私たちが生きる令和の時代の最先端の日本画の魅力を、天心記念五浦美術館 井手康人展地域連携実行委員会が主催する展覧会の1つとして紹介します。

#### 《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711 E-mail:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:今瀬 佐和(いませ さわ) / 広報担当:峠 綾乃(とうげ あやの)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(<https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>)

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

## 1 展覧会概要

### 展覧会名 「第6回 FROM—ここからの日本画—」

会 期：2026年7月19日[日]～8月2日[日]

休 館 日：7月21日[火]、27日[月]

開館時間：午前9時30分～午後5時

(入場は午後4時30分まで)

※最終日8月2日[日]は12時まで

会 場：茨城県天心記念五浦美術館 展示室B・C

入 場 料：無料

出 品 数：日本画20点

出品作家：石原孟、押元一敏、加藤ゆわ、川又聡、木下めいこ、野地美樹子、能登真理亜、  
安原成美、山浦めぐみ

## 2 本展のみどころ

- (1) 若手の日本画家による令和の時代の最先端の日本画を一堂に鑑賞することができます。
- (2) 初日と最終日のギャラリートークでは、作家自身が自分の作品について直接語ります。
- (3) 15m越えの野地 美樹子「Endless Flow」全図を、一挙展示します。

## 3 広報文

- (1) 日本画の大作を発表するグループ「FROM」がメンバーを改変し、「ここからの日本画」として始動します。岡倉天心や横山大観らが新表現に挑んだ近代日本美術の聖地・北茨城。その挑戦の精神を受け継ぐ、私たちが生きる令和の時代の最先端の日本画の魅力を紹介します。本展は天心記念五浦美術館 井手康人展地域連携実行委員会が主催し、県北地域の振興を図る事業の一環として開催されます。(179字)
- (2) 日本画グループ「FROM」が「ここからの日本画」として再始動。天心や大観らが新表現に挑んだ聖地・北茨城で、その精神を受け継ぐ令和の最先端の日本画の魅力を紹介する展覧会です。(86字)

## 4 会期中のイベント

### 出品者によるアーティストトーク (予定)

第1回：日時：7月19日[日]10:00～

押元一敏、加藤ゆわ、川又聡、野地美樹子、山浦めぐみ

第2回：日時：8月2日[日]10:00～

石原孟、押元一敏、野地美樹子、能登真理亜

【広報用図版】 ※表紙の画像も提供可能です。



野地 美樹子「Endless Flow」2025年



能登 真理亜 「Sleepless Night, Sleepless City」2026年



石原 孟 「Land」2026年



押元 一敏「門」2026年



加藤 ゆわ「茶会ノ折二不図・込メル画ノ意図」(部分) 2026年

※図版使用に際しての注意

- ・展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用願います。
- ・図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工はご遠慮ください。
- ・図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
- ・図版はデータでの提供となります。広報担当までご連絡ください。